

平成31年度	後期長期研修	校種・教科・領域	高校・教育相談
所属学校	県立名護高等学校	氏名	野原 百合子
テーマ	継続した支援を目指す機能的な教育相談体制の確立		
サブテーマ	SERAPLUS 及びアセスの活用とホワイトボード教育相談の実践を通して		
概要	複雑化、多様化する児童生徒の心身の健康問題に対し、学校に求められる役割は拡大し、「チーム学校」の視点が重要視されている。本研究では、機能的な教育相談体制の確立のために、職員の抱える教育相談上の困難感等の把握と、心身の健康問題を抱える生徒の早期発見・早期対応の在り方を検討した。 職員アンケートから、本校は教育相談体制の土台となる支持的・協働的風土が備わっている事が伺えた。また、対象学年において SERAPLUS とアセスを併用し、抽出した生徒についてホワイトボード教育相談を実施した。その結果、アンケートを併用する有効性や、ホワイトボード教育相談の効果が確認でき、機能的な教育相談体制に繋がる事が示唆された。		
キーワード	チーム学校・アセスメント・ホワイトボード教育相談・解決志向・ファシリテーション		

イメージ図



成果

- (1) SERAPLUS とアセスの併用は、生徒の実態を多面的に捉える一助となり、抱える課題の早期発見、早期対応に繋がった。
- (2) 解決志向の「ホワイトボード教育相談」は、情報を可視化することで生徒理解を促進し、チームで生徒を支援しようという機運の高まりに繋がった。
- (3) 「ホワイトボード教育相談」で実現可能な支援策を決定したことは、実践へのスムーズな移行を可能にした。